

# 地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和3年1月 日

協議会名:富津市地域公共交通会議

評価対象事業名:地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

## 事務局作成評価案

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
NPO法人わだち	竹岡地区公共交通空白地有償運送	市広報紙での記事掲載、チラシの配布等を行い周知に努めたほか、アンケート調査を実施し、ニーズの把握及び分析を行った。	A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。	C 事業が計画に位置づけられた目標を達成できなかった。	アンケート調査で得られた移動ニーズを基に、運行計画を変更し、令和2年10月1日から実施している。利用状況を踏まえ都度見直しを行う。
～以下は補足説明～		↓	↓	↓	↓
<p>前回の二次評価結果から、利用者の増加につながるようなきっかけ作り等の取組として、経路上の施設に看板を設置したほか、チラシ等の配布を行い、広報及び周知を図りました。</p> <p>また、改善に向けた取り組みとして、令和2年1月に竹岡地区住民を対象に実施したアンケート調査を基に、地区住民及び利用者のニーズを把握・分析し、運行計画の改善を行いました。</p>		<p>評価理由 定時定路線型の運行として計画どおり運行されたため、事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施されたと判断し、評価は「A」としました。</p>	<p>評価理由 目標とする利用者数(1,000人)には大きく離れた数字(240人)となったことから、評価は「C」としました。今年度は新型コロナウイルス感染症の影響により移動ニーズそのものが減少したことも一因と考えられます。</p>	<p>令和2年1月に実施したアンケート調査で得られた移動ニーズを基に、運行計画を変更し、令和2年10月1日から実施しています。利用状況を踏まえ都度見直しを行います。</p>	
<p><b>【参考】</b>前回(平成31年度)の運輸局における二次評価結果          →事業が計画に位置付けられたとおり、適切に実施されている。</p> <p>貴市においては、鉄道、路線バス、タクシー等の他市外を結ぶ高速バス等さまざまなモードの交通が運行されており、市域に広く分散する市民の足をカバーされていることは評価できる。今後引き続き持続可能な公共交通を確保するため、網計画の進捗状況を検証しつつ、地域にとって公共交通は全体としてどうあるべきか、各モードについて役割分担が十分に考えられているか再確認いただくことが重要である。</p> <p>目標・効果については、目標である利用者数は達していないものの、今年度新たに地域と連携した事業を導入され公共交通空白地をカバーできたことは評価できる。利用者数については、なぜ達成できなかったのか事業者のデータを入手・活用しつつ、関係者全体で要因の把握・検証をするとともに、利用者の増加につながるよう乗るためのきっかけ作り等の取組を行っていくことを期待する。</p> <p>今後の改善点については、記載のとおりアンケート調査等でニーズ把握を行うことで、市民に対して様々なおでかけニーズをくみ取ったバス路線・ダイヤになっているか検証いただき、さらに使いやすい交通網及び利用者が増加することを期待する。</p>					